

<本年度クラブ会長方針>

No.1507

広げようロータリーの想い、職場に社会に

承認 1985年2月12日 例会日 木曜日12:30 例会場 名古屋東急ホテル
 会長 大原敏正 事務局 名古屋市中区栄4丁目6番5号丸越ビル6F
 幹事 鬼頭茂成 電話(052)251-0181 FAX(052)251-0337 〒460-0008
 URL http://www.nagoya-osu.org E-mail office@nagoya-osu.org

ロータリーは機会の扉を開く

<2020-21年度R.I.テーマ>

R.I.会長 ホルガー・クナーケ

第1770回例会

令和2年7月9日(木)
委員長所見

於 名古屋東急ホテル

会員 53名

出席計算数

49名中42名出席

出席率 85・71%

前々回出席率100%

例会プログラム

★R財団ハネファクター

認証状・バッジの進呈

★大上親睦活動委員長

・納涼夜間例会案内

★委員長所見

ロータリーソング

※新型コロナウイルス感染症

拡大防止対策として歌は無し

ニコボックス

委員長所見よろしくお願ひします。

大原 敏正

委員長の皆様、所見楽しみにして

ます。 鬼頭 茂成

九州熊本地区・岐阜高山地区等の

水害、お見舞い申し上げます。

吉田 隆彦

早く梅雨が明けますように!!

救業 賢二

丹下社会奉仕委員長一年間よろし

くお願ひします。 堀江 英弥

丹下さんはじめ委員長の皆様、所

見楽しみにしています。

岩崎 征一

昨晚の社会奉仕委員会、会長・幹

事、会長エレクト、委員会の皆さん、お疲れ様でした。丹下 富博委員長所見よろしくお願ひします。

藤田 澈・川畑 博敬

高木 政義・岡村 隆徳

春日井和良・林 順治

川島 勇基・川合 美幸

小澤さん、浅野さん、先日は会計

監査会、ご苦労様でした。

妻の誕生日です。

加藤巳千彦

佐々木 功

会長挨拶

大原 敏正



私の会長挨拶は、ロータリー職

業奉仕の理念から、歯科に関連し

た話題を皆様にご提供したいと思

います。本日のお話は、認知症と歯

の関係です。現在の日本では65歳

以上の4人に1人が認知症か、そ

の予備軍と言われています。認知

症の研究は、我々歯科の領域から

も進められています。

最近の研究では、65歳以上の男

女4,000人を4年間追跡調査し

た結果、歯の残存本数が20本以上ある人に比べ、歯が無くて入れ歯もつけていない人では、認知症になるリスクが1・9倍高かったそうです。また、噛む力、咀嚼力の低い人と比べた場合口は1・5倍のリスクが有りました。

逆の調査もあります。仙台市での調査では、70歳以上の高齢者1,167人で、全身的に健康な人の歯の本数は平均で14・9本、一方認知症の疑いのある人の歯の本数は平均で9・4本だったそうです。

これらの調査は、歯の残存本数で調べられていますが、より詳しく見るには、しっかりと上下の歯がかみ合っている箇所の数を見ていくべきでしょう。

健康な老後を過ごすために、80歳で20本の歯を残す運動、「8020運動」が、かなりの日本人に知られる様になりました。「8020運動」は愛知県が発祥の地です。その効果が、認知症やボケなどの関連として、新たに見つかって来ています。

認知症やボケを予防するためにも、常日頃からしっかりと歯をケアして、高齢になっても自分の歯で、楽しい会話

と一口30回噛みの食事を楽しみたいものです。

「笑顔で、今日1日を過ごしましょー!」



R財団恒久基金(ハネファクター)

認証状・バッジの進呈

柴崎 正将



R財団恒久基金への1,000ドルの寄付者(ハネファクター)として

柴崎正将さんへR財団より表彰状と記念のピンが贈られました。



委員長所見

クラブ奉仕委員長 加藤巳千彦

みなさん、こんにちは。今年度クラブ奉仕委員長を仰せつかりました加藤でございます。今年度は、委員長として加藤、副委員長として岡村さん、委員として救業さん、

川島さん、野田さんの5名で頑張っておりますので、ご協力よろ

しくお願いいたします。



しくお願
いいたし
ます。
まず最
初に、昨
年度は力
不足の幹
事で会員
の皆様
多大なご
迷惑とご
心配をお
かけしま
したこと
、この場
をかきお
詫言ひ申
上げま
す。

先月末に昨年度が終わり、幹事の
プレッシャーから解放された安
堵感も束の間、クラブ奉仕委員長
とご立場をいただき、今年度も
ゆとりではないなというのが正
直な気持ちであります。一昨年度
に幹事をされ、昨年度にクラブ奉
仕委員長をされた杉本さんから
「幹事も大変だけど、クラブ奉仕
委員長も別の意味でかなり大変だ
よ」と聞いておりましたので、あ
る程度覚悟しておりましたが、実
際、杉本さんから引き継ぎを受け
てみると、結構たくさんの仕事が
ついでにありました。

まずは、ゲスト・スピーカーの受付
と例会での紹介、「二」ボックスの
受付と例会での発表、メーカーア
ップの受付、例会プログラムと卓話
者の確保、例会でのソングリーダ
ーについてはオオスシンガースに
依頼（現在は「コロナウイルス感染

防止のため例会での歌は中止で、ま
た、会員ならびに配偶者への誕生
日プレゼントの手配、敬老の日（古
希、喜寿、米寿など）を迎える方
への記念品の手配など、クラブ奉
仕委員会の仕事は多岐にわたって
あります。

ロータリーの創設者であるポー
ル・ハリスは、「クラブ奉仕委員会
の役割はクラブ運営の根幹である
奉仕」と「親睦」を担う委員会であ
る。奉仕と「親睦」は車の両輪
であり、クラブが自治権をもって
運営していくために、中心となる
べき委員会である」と述べていま
す。

他の国に比べ、日本のロータリ
ークラブは例会を重視する傾向に
ありますが、これは「入りて学び、
出でて奉仕せよ」と言われるよう
に、とにかく例会がロータリーク
ラブの基本だと考えられているか
らです。

例会で会員同士の交流を深め、
人間力を高めよう。その「こころ」
で得たものを外で実践し、奉仕す
ることに繋げていく。例会で何を
するのか、何を学ぶのか、会員に
とって得るべき知識は何か、意味
ある例会にするために何をしたら
いいのか。それを考え実践するの
がクラブ奉仕であると思います。
大原会長が本年度のテーマとし
て掲げる「拡げようロータリーの
想い、職場に「社会に」を実践すべ



く、会員の皆
様に毎回満足
していただい
けるよう卓話の
内容を企画し
、例会に出席し
てよかったな
、皆に会えてよ
かったなと思
っていますので、本年度一年
ごきょうごをお願ひいたします。

委員長所見
職業奉仕委員長 松本 哲朗



2回目の職業奉仕委員長を務め
ます松本哲朗です。まずはメンバ
ー紹介いたします。副委員長に内
藤明さん、委員に藤田徹さん、神
野邦利さん。この4名が一年活動
してきますのでごきょうごをお願
ひいたします。

「V.V.O.C.A.TION」

楽しいな「V.V.O.C.A.TION」
「V.V.O.C.A.TION」がアメリカで大ヒット
だが、そのめい日本でも弘田三枝
子が日本語で大ヒットさせた
「VACATION」の曲です。
前回職業奉仕委員長を務めた
8-8 小澤会長年度の時にこの
曲で委員長所見を始めました。
「職業奉仕」の元の英語が「VOC
ATIONAL SERVICE」です。
この「VACATION」を思い浮か
べようと思います。

英語の「職業」の単語は「
VOCATION」です。一般的には「OCCU
PATION」専門の資格を持った
「PROFESSION」熟練を要する
「CAREER」世間的「BUSINESS」
「JOB」「WORK」などです。
「VOCATION」は天から与えられ
た「大職」「利を離れ社
会に貢献する職業」という意味が
あります。自分の天職を生かして
社会に奉仕するロータリーの精神
にぴったりの言葉です。「VOCAT
IONAL SERVICE」は様々な
意味がありますが日本語にすると
ただ職業奉仕ということになります。
クラブ計画書に載せている活動
内容です。

1.Y.M.C.A
チャリティーランへの協賛
今年11月7日の土曜日が予
定となっております。「コロナであ
るのか見つけますが予算の関

係でチームの参加は見合わせ、協
賛のみを予定します。

2.1月の職業奉仕月間に会長の
命題「人材育成を考える」発展
する企業と「こころ」に合った卓話
を実施します。

3.大須観音での節分例会は中屋
大須RCならではの恒例行事で
はありますが「コロナ」による
が見守っていきます。

「コロナ」に限らず、様々な困難に
あっても、天職である自身の商売
を守り、ロータリアンを続ける「
こころ」が、一番の職業奉仕「VOC
ATIONAL SERVICE」だと
思います。

委員長所見

社会奉仕委員長

- 丹下 富博 (RCO担当)
- 副委員長 堀江 英弥 (確保係担当)
- 委員 浅野 彰
- 林 順治
- 伊藤 正明



我が名古屋大須ロータリークラブは、これまで様々な社会奉仕活動を行ってきましたので効果的な社会奉仕をする基礎が築かれています。大原会長の方針に基づき本年度もそれを継承するかたちで以下の4つのテーマを掲げ活動していきます。

- (1) 人間尊重 (2) 地域発展
- (3) 環境保全 (4) 協同奉仕活動

次に計画を説明させていただきます。

(1) 人間尊重

① 老人介護施設訪問活動の実施

今年度は新型コロナウイルス感染症対策を考えると秋の老人施設の訪問は避けることが賢明だと考えております。小澤さんを中心にこれまで23回訪問をしてまいりましたので、来春に訪問できたらと考えています。

② 大須万松寺献血ルームをはじめとする日本赤十字社献血活動協力

昨年度は愛知県赤十字センターより献血の依頼があり、13名の会員が献血に協力しましたので、今年も継続して呼びかけをしたいと思いますとおもいます。

(2) 地域発展

① 名古屋大須案内人RCCCの

連携活動の実施

3月からの活動休止をいたしました大須案内人が6月6日(土)より活動を再開し、夏場に向け暑気対策

策にスポットクーラーを名古屋大須ロータリークラブからの支援金を活用し購入し早速利用し始めました。

RCCCを継承し、大須商店街連盟行事へ参加するとともに今年も引き続き、大須案内人と連携していきたいと思います。

③ 第7回大須まつり

フォトコンテストの実施

今回ではやくも第7回となります。本年度は12月1日～2月20日に実施し、審査発表を4月1日の親睦例会にて行う予定です。

(3) 環境保全

① OSU山桜フィールドにおける環境保全活動の実施

「猿投の森つくりの会」の活動を支援し、法人会員ター、炭焼き体験やヤマザクラ観桜会に積極的に参加するなど、環境保全に努めるのもこのより、我々の山桜フィールドを温めながらメンバー同士親睦を深めていきたいと思います。

(4) 協同奉仕活動

① 震災・災害復旧支援

チャリティーコンサート活動の実施

② 名古屋市内25RCC

社会奉仕活動への参加協力

東日本大震災が起こった2011年より復興支援のチャリティーコンサートを毎年開催し、今回で第10回の開催となりますが、今年度から市内25RCC社会奉仕委員

会事業として、当クラブ、名古屋名南RCC、名古屋東南RCCの3クラブから共同提案が承認されました。4月22日に名古屋市民会館で開催が決定しています。



その他・お知らせ

国際ロータリー・ニュース

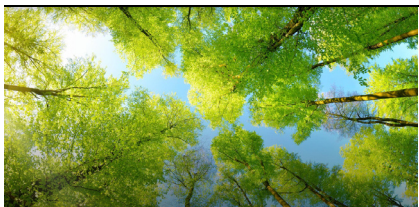
2020年6月26日

「環境の保全」が

新しい重点分野に

ロータリー財団管理委員会と国際ロータリー理事会は、「環境の保全」という新たな重点分野を追加しました。

過去5年間、財団のグローバル補助金では、1,800万ドル以上が環境に関連したプロジェクトに充てられてきました。環境を支援する別個の重点分野を設立することで、ロータリアンが世界中の地域社会で好ましい変化をもたらすのに大きなインパクトを生み出す一助となります。



環境の保全是、ロータリーの7つ目の重点分野となり、グローバル補助金によ

って実施される奉仕活動の力となりとなります。そのほかのカテゴリには、平和構築と紛争予防、疾病予防と治療、水と衛生、母子の健康、基本的教育と識字率向上、地域社会の経済発展です。

プロジェクトのための補助金申請は、2021年7月1日から受付を開始します。この新たな重点分野におけるグローバル補助金を支えるため、ロータリアンやその他の方々からの寄付や誓約を今後募っていくこととなります。この新しい重点分野に関する詳しい情報は、近日中に公開されます。

国際ロータリー・ニュース

2020年6月26日

「ケニアのロータリアンがコロナウイルスの感染拡大阻止に乗り出す」
東アフリカでは、ソーシャルディスタンスが経済的に難しく「せいたく」とされる地域があります。ロータリークラブが連携し、これらの地域で手洗い場の設置や食料支援を行っています。

ケニアのナイロビでは市民の80%近くが無認可居住区で生活しています。そこでは、日雇労働者や複数の世帯が一つ屋根の下で暮らす光景も珍しくありません。店員や建設作業員、家庭内労働者として稼いだわずかなお金で日々を生き抜くこれらの人たちは、狭

い空間で8人もの人が料理や宿題食事、睡眠といった生活を共にしています。

経済的に余裕のない多くのケニア人にとって、ソーシャルディスタンスング（人との距離を空けること）は、言わば「せいたく」です。

「北米などで発生している新型コロナウイルスの大流行がケニアでも起これば、悲惨な結果となるでしょう」。ソーシャルディスタンスの難しさを指摘しつつ、こう語るのは、ムサイガ・ロータリークラブ会員のギータ・マネクさん（ロータリー財団管理委員エリート）です。「予防策を徹底し、ウイルスに感染しないよう必ずにがんばっています」

世界保健機関が新型コロナウイルスのパンデミック（世界的流行）を宣言した直後、ロータリー第9212地区（エリトリア、エチオピア、ケニア、南スーダン）ガバナーのジョー・オティンさんは、全地区にわたがる対策チームを立ち上げました。ナイロビ・イースト・ロータリークラブのジョー・カマウさんがリーダーを務めるこのチームは、地区内のクラブと連携し、手洗い場の設置、職を失った世帯への食事の支援に加え、人びとに配布する防護具を購入するためのファンドレイジング（資金調達）を行っています。

「まず何から始めようか、とカマウさんが尋ねたので、手洗いの場の設置から始めよう」と答えました。対策チームメンバーのマネクさんはこう回想します。

マネクさんは、エチオピアとケニアでフアンドレイシングの先頭に立ち、20日間で2万1,000ドル以上を調達。さらに、集まった寄付に対してケニアのプライム銀行が同額を上乘せして拠出することを申し出ました。チームはこの資金で水タンク100台を購入し、さらにタンク納入業者からも追加100台の寄付を確保しました。金属製の台に設置されたこの水タンクは100リットルを貯水でき、下部には真ちゅう製の蛇口が取り付けられ、せっけん置きも備えています。対策チームはこの手洗いの場をキリフィ、モンバサ、ナイロビの各所に設置し、現在は国家衛生局と協力して次の支援地を絞り込んでいます。現在、トラックでタ



金属製の台に設置された水タンクは100リットルを貯水でき、下部には真ちゅう製の蛇口が取り付けられ、石鹸置きも備わっている。

\$21,000

ケニアとエチオピアでマネクさんが20日間に調達した資金

200

最初に配布された水タンクの数

100

水タンクの容量 (リットル)

ンクの交換をしていますが、当局は配管して水を補給する方法を検討しています。

ロータリアンと共に奉仕プロジェクトに参加する市民から成るグループ「ロータリー地域社会共同隊」は、現地の人びとに効果的な手洗いの方法を教えながら、人びとが手洗いのために戻ってくる回数などのデータも収集。また、ケニア都市部のスラム街で少女や女性の支援、擁護、教育に取り組む市民団体「Shofco」も連携し、手洗いの場の監督を行っています。

さらに対策チームは、手洗い場に来た人びとから、食料が不足している家庭に関する情報を集めています。在宅勤務命令が出されたことにより、日雇い労働者たちは生計を立てられなくなっている。マネクさんは指摘します。そこでクラブは、日雇い労働者らに砂糖、トウモロコシ、豆、バナナ、アボカド、ジャガイモ、ピーナッツ、卵、鶏肉、魚、野菜、果物などを配布しています。



ロコシの粉、米、平豆、塩、石鹼などが入ったパッケージを配布しています。

一方、最前線で闘う医療従事者に配布される防護員の入手は、さらに困難になりつつあります。納品業者や寄付団体に掛けあい、医療用マスクとガウンを確保しようと試みているものの、入手できる数は限られており、またそのほとんどが空輸のため、非常に高く付く。マネクさんは言います。

この危機においてプラスの要素があるとするれば、ロータリアンの熱意の高まりによって他団体からの注目が集まっていることが挙げられます。

「ロータリアンはいつでも真っ先に現場で活動してきました」とマネクさん。「ロータリーの活動を知り、協力したいと考えている銀行や保険会社など、企業からも協力の申し出が来ています」

母国ケニアに最も力を注ぐマネクさんですが、他のロータリアンたちもエリトリアやエチオピア、南スーダンで活動していることで

「この取組みを通じて、これまで存在すら知らなかった数多くの団体の方々と出会うことができました。もし存在を知っていたとしても、他団体は他団体、私たちは私たち、別々に活動してしま



ケニアのロータリアンが新型コロナウイルスの感染拡大防止に乗り出す

た」とマネクさん。「今では、私たちの周りに人びとがどんどん集まってきました。この人たちは、信頼できるパートナーを探しており、単なる有力者や、方向性がわからない団体には資金を出したくないのです。ロータリーが世界に示してきた価値観が、やっと認知されるようになったのです」

「ロータリークラブの存在意義と究極の目的は、助けを必要とする地域社会に寄り添い、支援することです。世界は今、かつてないほどロータリーを必要としています」とオティンさんは語ります。

記事: Arnold R. Gahai / Rotary International

国際ロータリー・ニュース

2020年6月26日

「新型コロナウイルス」対応の病院感染を止むイタリヤの「ナン」

イタリヤ全土のロータリークラブが一丸となり、新型コロナウイルス感染症の治療に当たる国内26の病院への最新医療機器の確保に取り組んでいます。

新型コロナウイルスにより大きな被害を受けたイタリヤでは、5月中旬までに32,000人が亡くなり、約226,000件の症例が確認されています。グローバル補助金を利用したイタリヤ全国のロータリークラブによるこのプロジェクトは、体温検知ユニット、ウイルス検査用隔離ユニット、患者を安全に診察・モニタリング・移動するためのウイルス防護スリッシュャーを提供しています。140万ドル以上の価値があるこれらの医療機器によって、現在の緊急な一歩に取り組むとともに、新型コロナウイルス流行の再来を防ぎ、公共保健を強化することを目指しています。

(国際ロータリーHPより)

7月23日(木) 例会の案内
法定休日(海の日)

7月30日(木) 例会の案内

外部卓話

「震災・防災」方々スリヤについて」

大林株式会社

取締役本部長 片桐 良夫さん

紹介者 加藤 口千彦さん

公共イメージ向上委員会

小澤 幸男・横川 誠人
住田 正夫・山口 正孝

*本文は、原則、頂いた原稿を転載しています。